

## 編集後記

私が本特集号を企画したきっかけは、SICE に関する学生や企業の多くの方々に、博士号を取得した実体験に基づく「生の声」を届ける機会を作りたいと思い立ったことでした。執筆者の先生方が企画意図を深くまで汲み取ってくださったおかげで、博士課程進学を検討するにあたって参考とするべき有益な情報が集められたと思います。すでに博士課程に所属している方々にも勇気を与えてくれると思います。

ご寄稿いただいた記事を拝読して、個人的に興味深いと感じたことは、偶然の出会いやきっかけに背中を押されて進学や進路を決めている方がとても多いことでした。まさに「セレンディピティ」が人生の岐路において重要となることを物語っているようです。訪れる機会に感度を高く保って、置かれた環境を有効に活用していく

ことが、SICE な博士に近づくための秘訣かもしれません。

本特集号では、博士からの意見や所感を集めました。もし機会があれば、続編として企業等から見た博士に対する意見や所感を集めてみたいとも感じました。企業が博士を本当に求めているのか、求めているのであれば何を期待しているのか、などについて「生の声」を聞く機会は貴重であると思います。仮にネガティブな意見であっても、博士号の取得を目指す学生には大いに参考になるのではないのでしょうか。

あらためまして、ご多忙中にも関わらず、熱意ある原稿をご寄稿くださった先生方にこの場を借りて感謝申し上げます。

(石崎 孝幸 記)

### ◇第 62 巻第 7 号 (2023 年 7 月号) 予定目次◇

#### 一般記事

リレー記事 「FACE the future」《第 54 回》ロボット・AI は「他者」たりうるか 松井哲也 (大阪工大)

#### 特集 計測の DX が社会にもたらす変化

総論 計測の DX について考える 高辻利之 (産総研)

解説 センシング技術の DX 社会に向けた役割と将来展望  
小林 彬 (東工大/次世代センサ協議会)

解説 化学プラントの運転・保守における DX  
山下善之 (東京農工大)

解説 AI を活用した画像センシング 斎藤英雄 (慶應大)

解説 国際単位系に基づく量・単位のデジタル表現に向けて  
保坂一元 (産総研)

解説 デジタルテクノロジー ～GEMIMEG “Safe and robust calibrated measurement systems for digital transformation”～ (計測のための DX)

Ing. Thomas KRAH (PTB)

事例紹介 製造業における DX 化～デジタル技術を寸法測定へ～ (DX のための計測) 栗山幸雄 (アキュイティール)

事例紹介 データ認証システムの開発  
城野克広, 渡邊 宏, 藤本俊幸 (産総研)

事例紹介 計測データの効率的な活用を実現する独立可用性  
藤本俊幸, 城野克広, 一村信吾 (産総研)

#### 一般記事

新人研究者によるサーベイ報告 次世代時間標準のための新しい高精度安定発振器 西山明子 (産総研)

新人研究者によるサーベイ報告 超低周波音計測に関する調査研究 平野 琴 (産総研)

新人研究者によるサーベイ報告 ポスト光格子時計を目指した次世代時間標準 川崎瑛生 (産総研)

製品紹介 小型で環境に配慮したフィルタ付き減圧弁の開発  
アズビル株式会社

#### (第 62 巻第 6 号)

特集号編集 WG: 井上正樹 (慶應義塾大学), 小川雅俊 (富士通), 金子 修 (電気通信大学), 西尾 唯 (本田技研工業), 原 尚之 (大阪公立大学), 石崎孝幸 (東京工業大学: 幹事)

#### 2023 年度 会誌出版委員会 (五十音順)

委員長: 永原 正章

副委員長: 山下 智輝

相沢 宏明

飴谷 充隆

板井 志郎

伊藤 直史

伊藤 博通

井上 正樹

大谷 雅之

大塚 章正

金子 修

川喜田佑介

川瀬 利弘

小木曾公尚

小林 洋

豊田 充

西尾 唯

西野 敦洋

信川 創

林部 充宏

藤原 正浩

堀川徳二郎

矢代 大祐

保田 俊行

山田 広明

吉留 忠史

吉野 公三